

【3年進路保護者会挨拶】

本日はお忙しいところ、進路保護者会にお越しいただきありがとうございます。また、日頃、新型コロナウイルス感染対策にご協力いただき重ねて感謝申し上げます。お陰様で、感染状況も落ち着いてきて、学校も通常日課に戻りつつあります。3年生にとっては、大きな思い出となるべき林間学校や修学旅行、柏翔祭を中止せざるを得ない苦渋の決断をしなければならなかったのはとても残念です。最後のチャンスとして、3月の受験終了後に、校外学習ができないものか検討を進めているところで、そこを楽しみに、ここからは進路実現に向けて、一点集中で頑張っていきたいと思います。頑張るのは子どもだけでなく、ご家族のみなさんも、我々教職員も、それぞれの立場で頑張ることが大切となります。

子どもにとっては、今回の進路選択が初めての人生の大きな選択となります。一人一人の子どもにとって、とても重大な決断をすることになります。しかし、まだ人生経験が十分でない中学三年生にとっては、適切な進路選択をするには限界があります。単に現在の成績がこのくらいだからあの学校に進学する、あるいは就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような進路をとればよいのか」…というようなことも視野に入れながら考えてほしいと思います。また、子どもの性格・学力・

特技・興味関心，さらには，社会や家庭の状況なども考えながら，保護者のみなさんには，人生の先輩として助言をしてあげることが大切だと思います。

進路選択は，中学校を卒業するときだけではなく，その後の人生で何度も訪れます。そんなときに，本人がどのように対処して，よりよい選択ができるかが，長い人生を有意義に生きていけるかどうかの分かれ道になると思います。私たちは，今回の人生初の進路選択を通して，子どもたちが，将来よりよく生きていくための力や知恵を獲得できるようになることを意識しながら支援していきたいと思っています。

さて，今月下旬から三者面談が始まります。進路希望を決定する大切な面談です。子どもが，自分の進路実現に意欲と自信を持って臨めるように，生徒，保護者，教職員の三者で相談を行います。相談の窓口は基本的に担任となりますが，子どもの進路希望については，教職員で共有し，全職員の知恵や経験を結集してアドバイスを行っていきます。担任の話は，柏中の先生の意見の総意として聞いていただけると幸いです。

また，子ども，保護者，学校がそれぞれの考えを率直に話して，共通理解しておくこともとても大切です。疑問点等がありましたら，そのままにせず，遠慮なく聞いていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。